

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・ 地域連携DMO ・地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	群馬県渋川市、榛東村、吉岡町	
所在地	群馬県渋川市伊香保町 541-4	
設立時期	昭和30年1月11日	
職員数	12人【常勤12人(正職員6人、嘱託員6人)】	
代表者(トップ人 材:法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 関口 征治 (一社) 渋川伊香保温 泉観光協会 会長 (有) 玉樹 代表取締 役)	令和2年10月に(一社) 渋川伊香保温泉観光協会 の会長に就任し、地域内外のパイプ役を担ってい る。また、同協会会長就任前は、同協会の副会長 として、様々な取組で成果を挙げている。
データ収集・分析等 の専門人材(CM O:チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー ※必ず記入すること	(氏名) 伊藤 信明 「専従」 (一社) 渋川伊香保温 泉観光協会 常務理事 兼事務局長	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の常務理事兼事 務局長。観光地域マーケティングについて高い知 見と能力を持つ。
財務責任者 (CFO:チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 伊藤 信明 「専従」 (一社) 渋川伊香保温 泉観光協会 常務理事 兼事務局長	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の常務理事兼事 務局長。組織運営の収支計画及び執行や財源確保 関しての知識と能力を持つ。
各部門(プロモーシ ョン、事業企画)の 責任者	(氏名) 高橋 篤志 「専従」 (一社) 渋川伊香保温 泉観光協会 係長	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の係長。国内外 のプロモーションに高い能力を持つ。 また、地域内関係者の信頼が厚く、広い人脈を備 えている。
各部門(事業推進) の責任者	(氏名) 廣川 健也 「専従」 (一社) 渋川伊香保温 泉観光協会 DMOア ドバイザー	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会のDMOアドバ イザー。民間企業の営業職に従事した経験から、 観光関係者のほか異業種にも幅広い人脈を持つ。

(別添) 様式 1

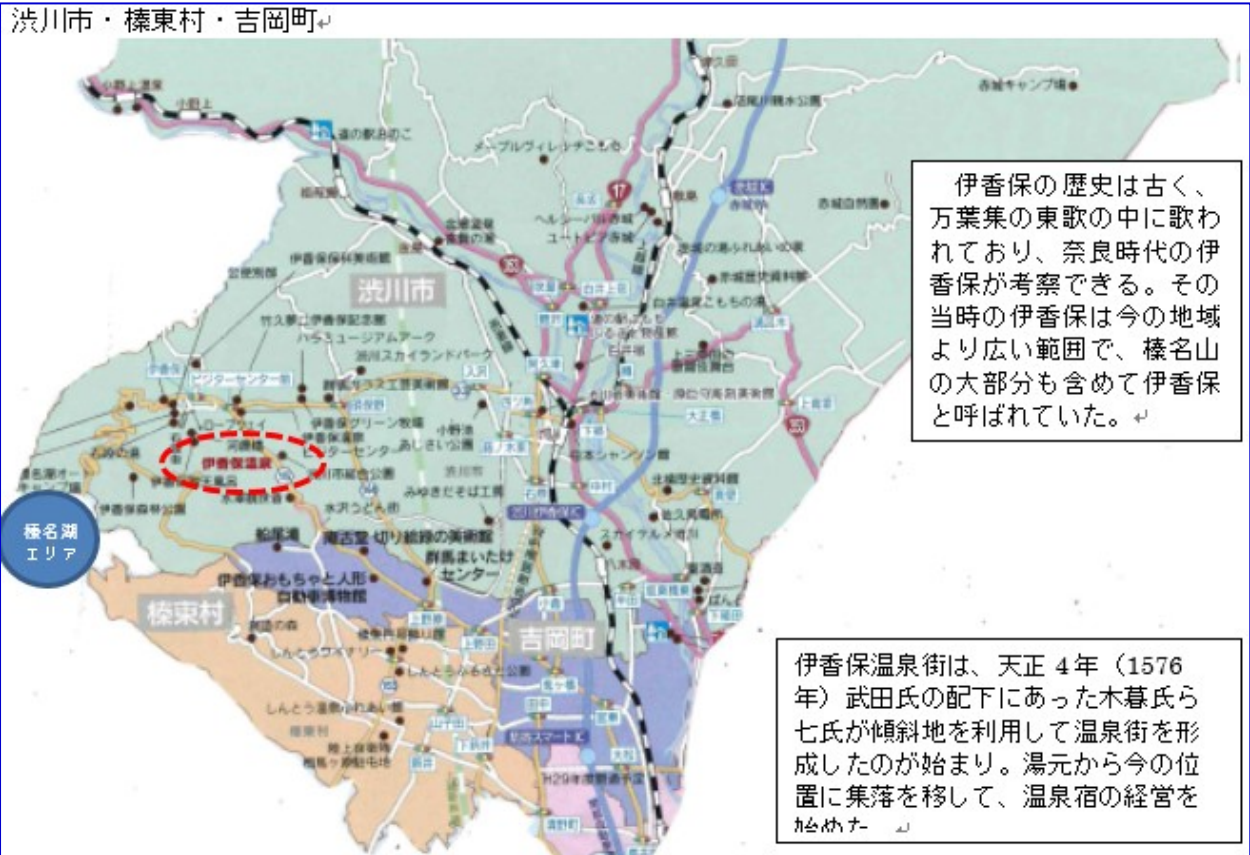
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>群馬県産業経済部戦略セールス局観光魅力創出課（観光振興） 群馬県北群馬渋川振興局（情報発信・イベント共催） 渋川市産業観光部観光課（観光振興・観光施設整備）企画部企画課（企画調整） 渋川市総合政策部交通政策課（地域交通調整） 榛東村産業振興課（情報提供・周遊観光） 吉岡町産業観光課（情報提供・周遊観光）</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>伊香保温泉旅館協同組合（宿泊施設情報提供及び施策連携） 伊香保温泉観光振興協議会（情報提供） しぶかわ商工会（イベントの共催・物産品開発） 渋川地区物産振興協会（アンテナショップ・物産品開発） 渋川広域農業活性化推進協議会（地元農産物の活用・観光農園との連携） 渋川北群馬DMO協議会 （株）JTB国内旅行企画（旅行商品開発）、 （株）JTB関東法人営業群馬支店（旅行商品販売）、 JR東日本（株）（アクセス改善）、 関越交通（株）（二次交通）、 群馬銀行等（金融連携）</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】② （概要） 渋川北群馬DMO協議会を設置しており、観光関係事業のみならず、行政や関係団体、農業関係者や製造業、地元タウン誌等とも連携している。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>受入体制を整えるため旅館組合・商工会婦人部・観光ボランティアガイドの会、などと連携し、当該DMO地区内の各自治会・地域住民等を含めた意識啓発を行う。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要） 伊香保温泉観光協会として設立以来、行政と一体となり温泉地の観光誘客に努めてきた。 平成18年に伊香保町をはじめとする5町村が渋川市と合併したことに伴い、組織を（一社）渋川伊香保温泉観光協会とし、伊香保温泉を核とする周辺観光資源を活用した広域観光振興に取り組んでいる。 また、観光客の利便性向上のため、無料WIFIの導入やSNSを活用した情報発信にも積極的に取り組んでいる。 明治時代にハワイ王国公使別邸が伊香保温泉にあったことから、ハワイアンフェスティバルを開催しており、恒例イベントとなっている。 その他、年間を通して自然環境を活用したイベントなど様々なイベントを主催している。 また、伊香保温泉沿線に点在する8つの観光施設と連携し施設を巡る周遊フリー乗車券等を発行する等、周辺との連携も推進している。 （定量的な評価） 主催する主な恒例イベントの集客数 ・ハワイアンフェスティバル 3万8千人、 ・河鹿橋紅葉ライトアップ 3～4万人 ・河鹿橋新緑ライトアップ 3～4万人 ・石段ひなまつり 3千人</p>

(別添) 様式 1

(令和元年度、令和2年度の主な事業)	
事業	実施概要
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏主要駅での観光キャラバン (令1) ・首都圏観光キャンペーン (令1) ・アニメ活用によるプロモーション ・旅行雑誌タイアップ宣伝 ・台湾ブロガー招聘 (令1) ・インバウンド向け観光プロモーション動画作成 (令1) ・台湾旅行博出展プロモーション (令1) ・EXPATTOKYO2020 出展 (令2) ・SNS活用によるフォトコンテスト (令2) ・ワーケーション促進SNSプロモーション (令2)
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・手荷物配送サービス「手ぶら観光」実施 ・訪日外国人向け路線バス周遊エリアバス事業及びバス停ナンバリング事業 (令1) ・安心安全に配慮した衛生基準「渋川伊香保モデル」構築及び衛生講習会の実施 (令2) ・観光地における多様な食の提供による集客滞在促進策の検証 (観光庁) (令2) ・域内周遊ツールとしてレンタル自転車 (電動アシスト付き) の導入 (令2)
観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・河鹿橋新緑ライトアップ事業 ・伊香保石段街灯り (常設) 演出事業 ・市民限定宿泊プラン実施事業 (令2) ・マイクロツーリズム推進モニターバスツアー (令2)
<p>実施体制</p> <p>※地域との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること (別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社) 渋川伊香保温泉観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施する。</p> <p>(実施体制図)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;"> 群馬県 ・観光魅力創出課 ・渋川行政県税事務所 榛東村 吉岡町 群馬県観光物産国際協会 JTB関東 JR東日本 交通事業者 地元金融機関 群馬銀行等 </p> </div>

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

区域の地方公共団体で構成する観光特別宣伝協議会が平成24年から設置されており、平成30年に当該協議会を発展的に拡充し渋川北群馬DMO協議会を発足し、首都圏をはじめとする観光キャラバン、SNSによる情報発信、周遊マップの作成イベント企画など連携した取組を実施している。

渋川市の観光入込客数、観光客消費額は、いずれも群馬県内トップクラスであり、観光客消費額に占める宿泊の割合は約7割と高くなっている。

一方、区域内の榛東村及び吉岡町は、日帰り観光客がほとんどであり、100万人を超える伊香保温泉宿泊観光客の消費をどう取り込むかが、観光消費額を増加させるための課題となっている。

また、渋川市においては、他の2町村に比較し人口減少のスピードが速く、消滅可能都市に位置づけられており、交流人口増加のため伊香保温泉をはじめとした観光資源の魅力をさらに磨き上げ、地域が誇る地域資源の活用や広域連携、海外を視野に入れたプロモーションの強化、様々な関係機関・団体等の連携により魅力ある観光地づくりを推進することが急務となっている。

【観光客の実態等】

伊香保温泉の宿泊者数

(単位：人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
宿泊者数	1,051,406	1,046,931	1,049,052	1,062,851	670,432
うち外国人	10,883	9,559	12,856	11,475	1,668

(別添) 様式 1

渋川市の観光消費額

(単位：百万円)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
観光消費額	19,938	19,112	19,253	18,683	

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

(1) 観光施設

○伊香保温泉（旅館や温泉関連施設）を中心に、以下の美術館・遊園地・観光牧場等観光施設が点在している。

日本シャンソン館、群馬ガラス工芸美術館、伊香保グリーン牧場、徳富蘆花記念文学館、伊香保保科美術館、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館、渋川スカイランドパーク、ハラミュージアムアーク、伊香保切り絵美術館、竹久夢二伊香保記念館、ハワイ王国公使別邸、榛東村耳飾り館、卯三郎こけし、切り絵緑の美術館、おもちゃと人形自動車博物館等々

○榛名・赤城山麓に、ぶどうやりんご、ブルーベリー、いちご等の観光農園が点在し、年間を通してフルーツ狩りが楽しめるほか、「しんとうワイナリー」では製造工程の見学や試飲をすることができる。

(2) 商業施設

渋川伊香保の様々な土産をそろえた店舗が多く、渋川駅前には「しぶかわ名産品センター（しぶさん）」が設置されている。

また、地域毎に特徴ある農産物直売所が整備され、全国有数の生産を誇る「こんにやく」などの特産品が販売されているほか、道の駅も3カ所整備されている。更に駒寄インターチェンジ周辺には都内には少ない大型店舗が集積し、観光客の立ち寄りも見られる。

(3) 自然

紅葉の名所である河鹿橋をはじめ、ツツジの名所、豊かな自然を堪能できる森林公園や、トレッキングに最適な山々を有している

上ノ山公園、伊香保森林公園や水沢山、二ツ岳等榛名山の山々、子持山、小野子山、船尾滝等トレッキングの適地に恵まれている。近隣の榛名湖では、釣りやボートなどアウトドアスポーツも楽しめるが、他の地域等に比べ、PRが不足している状況である。

(4) 文化

・近隣の歴史ある寺院

伊香保神社、水沢寺(水沢観世音)、榛名神社（等パワースポットとしても有名）

・古代遺跡：日本のポンペイと言われ二ツ岳の噴火により埋まった古墳時代の遺跡が点在しており、金井東裏遺跡の甲着人骨等、東国文化を伝える貴重な発掘が近年相次いでいる。

・赤城地区上三原田の農村歌舞伎等の文化も有名

・日本3大うどんに数えられる「水沢うどん」、郷土料理「上州おつきりこみ」等の食文化

・近代こけしの工房が多く生産量は日本の7割を誇る。創作こけしの「現代の名工」3人が渋川地域に集住しているほか、こけしの絵付け体験や博物館を兼ねる卯三郎こけし等の施設がある。

(5) スポーツ

渋川市は数々の総合運動場や体育館を有し、1市民1スポーツを掲げ、スポーツの振興に取り組むとともに、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致にも熱心である。

・前橋・渋川シティマラソン

・日本のまんなか渋川駅伝大会

・黒井峯遺跡マラソン等を開催

(6) イベント

日本のまんなか渋川へそ祭り、ハワイアンフェスティバル、伊香保まつり、渋川山車祭り（隔年）、石段ひなまつり、白井宿八重桜まつり（武者行列）

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

・伊香保温泉：44施設 客室数1,886室 収容力6,959人

・渋川市内ビジネスホテル旅館等：13施設

・榛東村 民宿1

(別添) 様式 1

<ul style="list-style-type: none"> ・吉岡町 2 (うち民宿 1) <p>【利便性：区域までの交通、域内交通】</p> <p>首都圏から約 100km 強、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車によるアクセス 関越自動車道で約 1 時間 10 分、渋川インターチェンジから 20 分 ○鉄道及びバスによるアクセス <ul style="list-style-type: none"> ・東京駅から J R 高崎駅まで新幹線利用で 1 時間弱、高崎駅から J R 吾妻線及び J R 上越線で渋川駅下車 (30 分)、渋川駅から伊香保行き路線バスで 30 分 ・新宿駅から直行バスも運行されている。 ・ J R 高崎駅からも路線バスが運行されている。 ・伊香保タウンバス運行。温泉街から周辺観光ポイントを結び伊香保の散策をサポート。 <p>【外国人観光客への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋川伊香保温泉観光協会 H P における英語、ハングル、簡体字、繁体字対応。 ・ 4 言語パンフレットを作成している。 ・伊香保温泉旅館では無料 W I F I のサービスを行っている。 ・台湾を本山とする臨済宗仏光山法水寺が平成 30 年に開山し台湾観光客の増加が予想される。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	顧客の求めている情報を把握するため。	Google Analytics
延べ宿泊客数 (KPI)	従来から継続して収集してきた基礎データであり、今後の観光振興の方針決定に資する重要指数	宿泊施設からの報告
外国人宿泊客数 (KPI)	同上	同上
渋川市観光消費額 (KPI)	同上 経済効果測定のため	渋川市観光課・群馬県
来訪者満足度	リピーター率の上昇や、紹介による顧客増加を見込むことができる。	独自パンフレット「伊香保旅の手帳」のアンケート評価を活用
リピーター率	滞在型観光地を目指す顧客獲得戦略指数。	旅館への聞き取り及び各種アンケート調査
宿泊施設の稼働率	宿泊者の増加を図るため	旅館からの報告
メディア掲載回数	宿泊者の増加と知名度向上を図るため。	協会にて実績把握
榛東村観光バスツアー参加者	周遊観光の指数。	行政から収集
吉岡町道の駅年間利用者数	交流人口の指数。	行政から収集
地域経済分析システムによる観光マップ From-To 分析等	誘客プロモーション等の参考にしていく。	地域経済分析システム

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

渋川市では、人口減少が進んでおり、観光客の減少と雇用環境の悪化が懸念。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人 (DMO) を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることにしている。

(2) 地域の強みと弱み

好影響	悪影響
-----	-----

(別添) 様式 1

内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からのアクセスの良さ ・石段街を中心とした風情ある温泉地 ・自然環境 (紅葉の名所) ・周辺観光施設の豊富さ ・フルーツ狩りのできる環境 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り観光地化している。 ・2次交通が脆弱 ・石段街の魅力不足 (石段自体が高齢者には不便) ・人材不足のためのおもてなし低下 ・インバウンド受入対応の遅れ ・泊食分離に対応する施設 (店舗) 不足
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の増加 ・温泉志向な若者の増加 ・トレッキング等の普及 ・台湾を本山とする臨済宗の佛光山法水寺の開山 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による観光客の減少と、雇用環境の悪化 ・家族旅行の減少と一人旅の増加 (客室稼働率は高いが宿泊客数は減少) ・企業の行うインセンティブ旅行の減少 ・食後の時間を楽しむ場所が不足

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入 (様式自由)。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 日常のストレスを「おもてなしと非日常」の温泉旅行で解消し、リフレッシュしたい世代 (20代後半から50代の男女)</p>
<p>○選定の理由 伊香保温泉は、首都圏からの宿泊客が多く、日常のストレスを温泉で癒やし、リフレッシュをする温泉地として利用されている。今後も、「近くにある特別な癒しの場」として認識してもらい、いつでも気兼ねなく利用できる温泉地であり続けることにより、リピーター率を増加させる。</p> <p>○取組方針 ストレスの多い日常から逃れ、自然や温泉で癒やされ、ストレスを解消したいという欲求は今後も高まって行くと考えられる。その欲求に応えられる観光地を目指す。</p> <p>【宿泊施設】 自然環境や温泉、そして係員や女将の何気ないおもてなしが、「本来の自分の場所に戻ってきた」感を与え、「休日」を満喫できる。湯治場と知られた伊香保温泉本来の温泉浴効果を発揮できるプログラムを用意する。(人材育成強化・ヘルスツーリズム)</p> <p>【観光施設】 様々な体験や感動によるリフレッシュをはかれるよう「大人」のプログラムを充実していく。</p> <p>【その他】 自然環境を活かしたトレッキングや特産のフルーツ・こんにやくを活用した癒し系デザート開発などにも関係者と協議しながら取り組んでいく。 新幹線の停車駅である高崎駅とのアクセスを改良するため、高崎駅・伊香保温泉間の主要観光地を繋ぐ急行バス等の運行を推進する。 新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」に対応すべく、ニューノーマル化しつつあるリモートワークによるワーケーションの受入強化を図り、平日利用、滞在型利用の推進を図る。</p>
<p>○ターゲット層 小学生以下の子どもを中心とするファミリー層</p>
<p>○選定の理由</p>

(別添) 様式 1

<p>首都圏在住者を対象に、マイクロツーリズムの観点から、思い立ったらすぐ行ける近くのリゾートとして認識してもらい、週末や短期間の休みを活用して旅行するファミリー層を更に取り込んでいく。</p> <p>○取組方針 観光地宿泊と観光施設をセットとした着地型商品の開発等を進める。</p> <p>【宿泊施設】 家族連れを対象とするサービスを充実していく。</p> <p>【観光施設】 観光施設や伊香保温泉石段街の魅力を高め、リゾートとして認識してもらええる雰囲気演出する。</p> <p>また、SNSでの露出頻度を高め首都圏を中心としたマイクロツーリズムによるリピート利用を促進し、集客を狙う</p>	
<p>○ターゲット層 台湾を中心とした東南アジア地域からの外国人観光客</p>	
<p>○選定の理由 当該ターゲット層の来訪者数は他の外国地域と比べ圧倒的に多いのが現状である。しかしながら、観光宿泊者全体数からすると、外国人客数は全体の1%程度である。</p> <p>伊香保温泉地域内に台湾に本山のある佛光山法水寺が開山されていることから参拝者も予想され、市場としても今後拡大傾向にある。</p> <p>○取組方針 訪日観光旅行において、伊香保温泉での日本の温泉旅館の情緒、文化を滞在型観光として堪能してもらうことを目指す。</p> <p>また、東京をハブ地とした1泊2日の日本式温泉旅館宿泊を伊香保温泉で堪能してもらうことも併せて目座していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕食後も楽しんでもらえるよう石段街の活性化に取り組む。 ・伊香保発の東京観光、日光観光等の商品開発を推進する。 ・看板表示の多言語化、湯浴み着を着て入れる温泉設置等に取り組む。 ・食の多様化に対応すべく、ベジタリアンメニューの開発に取り組む。 ・国際線空港からの直通高速バスの運行を目指すとともに、アクセスの利便性を強化する。 ・自国向けの情報発信として、SNSの活用により露出頻度を増やし、多くの集客を狙う。 	

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>～思い立ったら伊香保温泉～ ～頼りにされる奥座敷をめざして～</p>
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏に近い利点を活かし、週末、平日を問わず気軽に訪れ、リフレッシュできる温泉リゾートとして訴求できる観光地を目指す。 ・また、四季折々の自然環境と温泉の中で「自分を取り戻せる場所」「新たな構想を練る場所」「思索にふける場所」等として、滞在できる「奥座敷」として選ばれる「頼りにされる」観光地を目指す。 ・外国人向けには伊香保温泉に連泊して東京観光や日光等への観光ができ、日本情緒が味わえる国際的な宿泊地として評価を高めていく。そのため、(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の窓口をカテゴリーⅡ以上のJNTO認定外国人観光案内所の認定を目指す。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	平成 30 年に設置した渋川北群馬DMO協議会を中心として、地域の関連事業者とのコミュニケーションの場を設け、情報共有やコンサルティング等を実施。 2ヶ月に1回開催。四半期ごとの開催を目途とし、必要に応じて適宜開催する。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係るマーケティング調査やビッグデータを活用した市場動向調査の結果を各施設・店舗等へフィードバックし、サービス向上や苦情対応についての研修等も実施。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	Webでの検索件数の多い渋川伊香保温泉協会を中心に、SNS等を活用した効果的な一元的プロモーションを実施するとともに、同協会の宣伝力を活用し、魅力的なコンテンツの作成やイベント及びプロモーション、キャラバンなども連携して効果的に実施する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2017	2018	2019	2020	2021	2022
		(H29) 年度	(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	23,089 ()	24,283 ()	25,425 ()	25,425 ()	25,425 ()	25,425 ()
	実績	19,116 ()	19,252 ()	18,679 ()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	1,300 ()	1,400 ()	1,500 ()	1,500 ()	1,500 ()	1,500 ()
	実績	1,174 (10)	1,049 (13)	1,063 (10)	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	72 ()	74 ()	76 ()	78 ()	80 ()	82 ()
	実績	72 ()	74 ()	76 ()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	30 ()	32 ()	34 ()	36 ()	38 ()	40 ()
	実績	30 ()	32 ()	32 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

【検討の経緯】

渋川市第2次観光基本計画では、平成28年度の数値から平成34年度（令和4年度）の目標値のみで各年度の具体的な数値が設定されていないため、当該DMO協議会において観光基本計画と照らし合わせ、令和4年度の目標値達成を目指し、榛東村・吉岡町も観光バスツアーや道の駅年間利用者数の目標値達成に向け、事業取組を推進していくうえで、コアメンバーによる戦略会議を経て理事会にて数値設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

総宿泊者数、日帰り観光客数を含めた一人あたりの消費概算値において、令和4年度に全体で248億円を達成するために約年1.05%の伸び率で数値設定する。

●延べ宿泊者数

連泊、インバウンドの促進強化を図り、令和4年度に140万人を達成するために約年10%の伸び率で数値設定する。

●来訪者満足度

おもてなし等受入体制の更なる充実を図る。（各種アンケート調査）令和4年度に80%を達成するために約年3%の伸び率で数値設定する。

●リピーター率

宿泊施設からの聞き取り調査及び、アンケート調査を基に数値設定。個人客を対象にした体験プログラム等を広域的に造成。令和4年度に40%を達成するために約年7%の伸び率で数値設定する

(2) その他の目標

指標項目		2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
●宿泊施設の稼働率 (%)	目標	63 ()	64 ()	65 ()	65 ()	65 ()	65 ()
	実績	56 ()	56 ()	60 ()	()	()	()
●メディア掲載回数 (回)	目標	130 ()	135 ()	140 ()	140 ()	140 ()	140 ()
	実績	120 ()	130 ()	130 ()	()	()	()
●榛東村観光バスツアー参加者 (人)	目標	()	5年間で150人を達成する				()
	実績	()	()	()	()	()	()
●吉岡町道の駅年間利用者数 (人)	目標	()	5年間で徐々に増加させ9000人増を達成する				()
	実績	()	()	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

<p>【検討の経緯】 当協会理事会及び協議会コアメンバー会議において、数値設定する。</p> <p>【設定にあたっての考え方】</p> <p>●宿泊施設の稼働率 団体客減少に伴い、宿泊者を増やすために稼働率を設定し、泊食分離も視野に入れる。毎月旅館からの宿泊者数報告書内の各旅館稼働率の記載により算出し、外国人旅行者数の増加（1～5%）を見込む。</p> <p>●メディア掲載回数 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS等により情報発信することにより来訪しなくなる気運を高めるため、フィルムコミッション等の更なる活用を目指す。当協会にて実績を集計し、インバウンド対象国に積極的にPRを行い掲載回数の増加（4～15%）を見込む。</p> <p>●榛東村観光バスツアー参加者 地域連携のためリピーター確保や観光消費額等の根拠となるため、行政で集計する。</p> <p>●吉岡町道の駅年間利用者数 地域連携のためリピーター確保や観光消費額等の根拠となるため、行政で集計する。</p>
--

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳
2017（H29） 年度	89,327,443（円）	【 縣市町村からの補助金 】 51,348,442（円） 【 会費収入 】 10,038,431（円） 【 収益事業収入 】 27,940,570（円）
2018（H30） 年度	95,200,000（円） 95,000,832（円）	【 縣市町村からの補助金 】 51,307,870（円） 【 会費収入 】 9,957,372（円） 【 収益事業収入 】 32,021,096（円） 33,735,590 円
2019（R1） 年度	95,000,000（円） 99,552,316（円）	【 縣市町村からの補助金 】 53,000,000（円） 51,732,730（円） 【 会費収入 】 9,000,000（円） 9,357,372（円） 【 収益事業収入 】 33,000,000（円） 38,468,995（円）
2020（R2） 年度	95,000,000（円）	【 縣市町村からの補助金 】 53,000,000（円） 【 会費収入 】 9,000,000（円） 【 収益事業収入 】 33,000,000（円）
2021（R3） 年度	95,000,000（円）	【 縣市町村からの補助金 】 53,000,000（円） 【 会費収入 】 9,000,000（円） 【 収益事業収入 】 33,000,000（円）
2022（R4） 年度	95,000,000（円）	【 縣市町村からの補助金 】 53,000,000（円） 【 会費収入 】 9,000,000（円） 【 収益事業収入 】 33,000,000（円）

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2017 (H29) 年度	86,560,479 (円)	【一般管理費】 24,830,421 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,448,442 (円) 【露天風呂管理費】 24,281,616 (円)
2018 (H30) 年度	94,500,000 (円) 83,610,653 (円)	【一般管理費】 20,822,068 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,407,870 (円) 【露天風呂管理費】 25,380,715 (円)
2019 (R1) 年度	95,000,000 (円) 87,735,221 (円)	【一般管理費】 34,500,000 (円) 27,256,771 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 13,700,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円) 28,778,450 (円)
2020 (R2) 年度	95,000,000 (円)	【一般管理費】 34,500,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円)
2021 (R3) 年度	95,000,000 (円)	【一般管理費】 34,500,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円)
2022 (R4) 年度	95,000,000 (円)	【一般管理費】 34,500,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

○設立当初は、現在の協会予算（地方公共団体の補助金を含む）により、各種プロモーションやイベント開催等による誘客対策を中心に活動しDMOとして運営するとともに、露天風呂の計画的な修繕により、事業収入の増加に努めた。

○マーケティング調査に基づく効果的なプロモーション活動を実施し、効率的な集客に努めるとともに、交通アクセスの改善をはじめ、地元交通事業者、観光施設と連携した着地型旅行商品の造成、販売を行う。

○JR 渋川駅前の「渋川駅前プラザ」で旅行者の手荷物を預かり、関越交通（株）、（一社）渋川伊香保温泉観光協会及びヤマト運輸（株）の協力を得て、伊香保温泉の各旅館に手荷物を配送する「手ぶら観光サービス」（料金は1個あたり500円）を令和元年5月から開始している。

○水沢観音周辺の観光に便利な群馬バス（株）、グリーン牧場周辺の観光に便利な関越交通（株）に加え、伊香保温泉周辺を循環する伊香保タウンバス（市乗合バス）乗降フリーで利用できる企画乗車券を、外国人観光客を対象に「渋川駅前プラザ」で令和元年5月から販売している。価格は、大人1,500円、小学生以下750円

○イベント出展者へのテントや簡易な物品の貸し出しを行う。

○観光施設の前売り券の取り扱いを進める。

○会員のHPや動画コンテンツの作成等を受託できるノウハウを蓄積していく。

○渋川市を舞台とする漫画やアニメを活用し、「聖地巡礼」として本市を訪れたファンに市内周遊を促進するための仕掛けづくりを行う。デジタルスタンプラリーやデザインマンホール蓋の設置、ラッピングバスの運行などを実施している。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

渋川市、榛東村、吉岡町は、一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会を当該市町村における地域連携DMOとして登録しており、引き続き一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	近藤 政道
担当部署名(役職)	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会 事務局次長
郵便番号	377-0102
所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保 541-4
電話番号(直通)	0279-72-3151
FAX番号	0279-72-4452
E-mail	m-kondoh@dan.wind.ne.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	群馬県
担当者氏名	福田 裕彦
担当部署名(役職)	北群馬渋川振興局 総務振興係長
郵便番号	377-0027
所在地	群馬県渋川市金井 395
電話番号(直通)	0279-22-0777
FAX番号	0279-23-8221
E-mail	

都道府県・市町村名	渋川市
担当者氏名	寺島 剛
担当部署名(役職)	産業観光部 観光課 課長
郵便番号	377-0007
所在地	群馬県渋川市石原 80
電話番号(直通)	0279-22-2873
FAX番号	0279-22-2132
E-mail	

都道府県・市町村名	榛東村
-----------	-----

(別添) 様式 1

担当者氏名	山口 誠一
担当部署名 (役職)	産業振興課 課長
郵便番号	370-3503
所在地	群馬県北群馬郡榛東村新井 790-1
電話番号 (直通)	0279-54-2211 (代)
F A X 番号	0279-54-8225
E - m a i l	

都道府県・市町村名	吉岡町
担当者氏名	岸 一憲
担当部署名 (役職)	産業観光課 課長
郵便番号	370-3608
所在地	群馬県北群馬郡吉岡町下野田 560
電話番号 (直通)	0279-54-3111 (代)
F A X 番号	0279-54-8681
E - m a i l	

【区域】群馬県、渋川市、榛東村、吉岡町

【設立時期】昭和30年1月11日

【登録日】平成30年3月30日

【代表者】関口征治

【マーケティング責任者】伊藤信明

【財務責任者(CFO)】伊藤信明

【職員数】12人【常勤12人(正職員6人、嘱託員6人)】

【連携する主な事業者】・伊香保温泉旅館協同組合

・伊香保温泉観光振興協議会・しぶかわ商工会

・渋川北群馬DMO協議会・渋川広域農業活性化

推進協議会・渋川地区観光特別宣伝協議会

・JTB関東・JR東日本・関越交通

・地元金融機関(群馬銀行)等

実施体制



マーケティング・マネジメントする区域



伊香保の歴史は古く、万葉集の東歌の中に歌われており、奈良時代の伊香保が考案できる。その当時の伊香保は今の地域より広い範囲で、榛名山の大部分も含めて伊香保と呼ばれていた。

伊香保温泉街は、天正4年(1576年)武田氏の記下にあった木暮氏ら七氏が傾斜地を利用して温泉街を形成したのが始まり。湯元から今の位置に集落を移して、温泉宿の経営を始めた。

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】(該当番号②)

【概要】

観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政が参画し、本法人が事務局を務める協議会を設置

②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

・首都圏観光キャラバン、キャンペーン・アニメ活用によるプロモーション・旅行雑誌タイアップ宣伝・台湾ブローガー招聘・インバウンド向け観光プロモーション動画作成・台湾旅行博出展・EXPATTOKYO2020出展・SNSフォトコンテスト・ワーケーション促進SNSプロモーション等

【観光資源の磨き上げ】

・河鹿橋新緑ライトアップ・伊香保石段街灯り演出・市民限定宿泊プラン実施・マイクロツーリズム推進モニターバスツアー等

【受入環境の整備】

・「手ぶら観光」サービス・訪路線バス周遊エリアパス及びバス停ナンバリング・衛生基準「渋川伊香保モデル」構築及び衛生講習会の実施・観光地における多様な食の提供による集客滞在促進策の検証(観光庁)・レンタル自転車(電動アシスト付)導入等

戦略

【主なターゲット】

20~50代の男女・小学生以下の子供を中心とするファミリー層・台湾を中心とした東南アジア温泉体験をしたいリピーター

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・渋川市内と伊香保温泉内を巡るモニターツアーの実施
- ・宿泊施設と観光施設をセットにした着地型商品の開発
- ・伊香保温泉にある佛光山法水寺(台湾が総本山)との観光PR連携

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

渋川北群馬DMO協議会を設置しており、行政や関係団体、農業関係者や製造業、地元タウン誌等とも連携している。

KPI(実績・目標)

※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目		2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R3) 年度
旅行消費額 (百万円)	目標	23,089 ()	24,283 ()	25,425 ()	25,425 ()	25,425 ()	225,425 ()
	実績	19,116 ()	19,252 ()	18,679 ()	()	()	()
延べ宿泊者数 (千人)	目標	1,300 ()	1,400 ()	1,500 ()	1,500 ()	1,500 ()	1,500 ()
	実績	1,174 (10)	1,049 (13)	1,063 (10)	()	()	()
来訪者満足度 (%)	目標	72 ()	74 ()	76 ()	78 ()	80 ()	82 ()
	実績	72 ()	74 ()	76 ()	()	()	()
リピーター率 (%)	目標	30 ()	32 ()	34 ()	36 ()	38 ()	40 ()
	実績	30 ()	32 ()	32 ()	()	()	()

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】

(県市町村からの補助金53百万円)(会費収入9百万円)(収益事業収入33百万円)(R1年)

【総支出】95百万円(一般管理費34.5百万円、事業費60.5百万円)
※令和2年3期決算

【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】

収益事業の充実に努める。